

北陸新幹線開業記念

第
54
回

日本伝統工芸富山展

平成27年 5月22日(金)～6月7日(日) 月曜日休館

午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで) 5月22日(金)は午前10時30分から



第53回日本伝統工芸富山展 日本工芸会賞
半紗織着物「早瀬」 山下 郁子 作

主催 (公財)高岡市民文化振興事業団 高岡市美術館／(公社)日本工芸会富山支部／(公社)日本工芸会／北日本新聞社

後援 文化庁／富山県／富山県教育委員会／高岡市／高岡市教育委員会／
NHK 富山放送局／北日本放送／富山テレビ放送／チューリップテレビ／
富山エフエム放送／とやまソフトセンター

観覧料 一般800円(640円)／シニア640円／大学生500円(400円)／高・中・小生 無料
○()内 団体料金 20名以上
○2階コレクション展(ピコレギャラリー)も併せて観覧できます。(高校生のみ別途観覧料160円)
○身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は半額です。手帳をお持ち下さい。



高岡市美術館

〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30 TEL 0766-20-1177
URL <http://www.e-tam.info/>

趣 旨

昭和36年に第1回展が開催された日本伝統工芸富山支部展(第4回以降日本伝統工芸富山展)は5周年の5回展から県内出身者を対象とする公募制を取り入れ、今年で54回を数えます。

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層練磨すると共に、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

今回は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸の7部門の公募入選・受賞作品と重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む全国著名作家の作品を合わせて約200点展示します。

審査員

中川 衛	重要無形文化財保持者〔金 工〕 (公社)日本工芸会 常任理事
土屋 順紀	重要無形文化財保持者〔染 織〕 (公社)日本工芸会 理 事
川北 良造	重要無形文化財保持者〔木竹工〕 (公社)日本工芸会 参 与
前 史雄	重要無形文化財保持者〔漆 芸〕 (公社)日本工芸会 参 与
林 駒夫	重要無形文化財保持者〔人 形〕 (公社)日本工芸会 参 与
中田 一於	(公社)日本工芸会 理 事 陶芸作家
村上 隆	高岡市美術館 館 長 順不同 敬称略

開会式

5月22日(金) 午前10時～
エントランスホール

出品者研究会

より良い作品を作るために Ⅲ
5月24日(日) 午後3時30分～5時
地階ビトークホールにて

列品解説

各々午後2時～3時

5月23日(土) 金 工 (般若 勘溪)・陶 芸 (金田比陶美)
24日(日) 漆 芸 (寺田 博)・染 織 (山下 郁子)
30日(土) 木竹工 (荒木 寛二)・諸工芸 (長岡 達雄)
人 形 (平岡 彰子)
31日(日) 金 工 (般若 保)・陶 芸 (石井 秀山)
6月6日(土) 漆 芸 (林 暁)・染 織 (南部 富子)
7日(日) 木竹工 (米道 正幸)・諸工芸 (佐野 猛)
人 形 (平岡 彰子)

会期中同時開催

(公社)日本工芸会富山支部会員小品展
地階ミュージアムショップ

「^{さわ}触れる工芸品」コーナー

展覧会場入口 アートホール

各々午前10時30分～11時20分

5月23日(土) 金 工、24日(日) 陶 芸
30日(土) 硝 子、31日(日) 人 形

～ 工房探訪 ～



「浮織帯地」の製作過程

経糸の組しき織りで帯地に変化をつけ、緯糸は本藍染の濃淡、エンジュ、クサギ、そして緋糸を用い、織り色を思考しつつ織っています。

染織部門 山下 郁子さん(前回 日本工芸会賞受賞者)

一 般 公 募 の 案 内 ○どなたでも出品できます。

出品申込 4月30日(木)～5月1日(金)

伝統工芸の特性を生かし、現代生活に直結する作品で、工芸として格調が高く、美術作品として芸術性を保持し未発表の作品。

<宛 先>

〒933-0813 富山県高岡市下伏間江148 大澤光民方 (公社)日本工芸会富山支部

<お問い合わせ、応募要項請求先>

第54回日本伝統工芸富山展事務局

〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号

高岡市美術館内 0766(20)1177